

衆議院議員 民主党埼玉県第1区総支部  民主党
たけまさ公一 TAKEMASA REPORT

御年賀

2005年
1月

VOL. 39

国会レポート



温家宝 首相と会談

未来政治研究会 訪中団

2005年たけまさの決意

今月号の内容

謹賀新年

今年は日本に2大政党が根付くかどうかの

正念場です。岡田代表を支え、民主党政権

ならば何ができるのかというメッセージを、国民の

皆様にわかりやすく伝えてまいります。

1. 2005年たけまさの決意

1. **政権交代の具体化**・・・民主党政権になったらここが変わるといような「わかりやすい」イメージを党として示してゆきます。そのために、役員室次長(代表補佐チーム総括)として、岡田代表を支えてゆきます。地元では、民主党の足腰を強化するため埼玉県第1区総支部、埼玉県連などの議員・サポーター・所属地方議員を増やし組織を充実してゆきます。

2. **政令市さいたま市の充実**・・・20年前から政令市の旗を振ってきた理由は、自立した地域経済、「消費が雇用を産み投資を導く」お金の循環する地域をめざしたからです。このことが、さいたま市独自の文化や芸術を育む土壌になります。また、防犯防災等の財源としての税金にもつながります。4月には岩槻区(予定)が10番目の区として誕生します。その伝統・歴史・産業集積がさいたま市の魅力をさらに倍加するように努めます。

3. **年金の抜本改革に道筋を**・・・昨年参議院選挙の民意です。あだや忘れることはありません。医療・介護と共に、社会保障制度における年金の位置付けも明確にします。少子対策にはこの社会保障制度の確立が欠かせません。預かっているはずの年金保険料を自分の財布と考えるような特別会計と社会保険庁はなくします。

4. **国連常任理事国入りを実現**・・・日米同盟は安全保障の基軸ですが、それに偏りすぎず、国連の改革に日本は率先すべきであります。東アジアではアジア債券市場構想を実現します。そして、東アジア各国に対する貢献や連携をODAに限らず進めます。「領土領海を守る、国民の生命財産を守る」ためには「言うべきこと主張すべきことは、言い主張する日本外交」を築きます。それが常任理事国入りの評価につながると考えます。

5. **日本の防衛の転換点**・・・防衛大綱見直しでは、「日本の防衛」とは「どこを誰がどのように守るのか」という議論がありませんでした。ミサイル防衛構想の導入や武器輸出三原則の緩和の時も同じでありました。この議論を避けて通ることはできません。米軍再編への対応もしかりであります。その議論の前提として、文民統制、国会の関与は当然省くことはできません。

6. **安易な国民負担は認めない**・・・来年9月までをとっても新たな国民負担は最大約9兆円です。その先に消費税率引き上げが待っています。財務省のお題目である「直間比率見直し」も放棄した「定率減税廃止」などは順序が違います。歳出削減、無駄遣いのカットが先です。それができない自公政権。その理由は、官僚と

族議員の癒着にあります。そのくびきを断ちます。

7. 教育の建て直しを…文部科学省がはじめて子供たちの学力の低下を認めました。週五日制の導入の結果はどうだったのか検証が必要です。特に、公立教育の建て直しが急務です。教育基本法の見直しと共に、歴史教育では近代日本、とりわけ 20 世紀の日本の歩みをしっかりと学べるようにしなければなりません。また、職業教育の充実、進路指導の実を挙げるとともに、提出済みのガイダンスカウンセラー法案を成立させます。

2. 未来政治研究会訪中報告

2004年12月13日～15日

未来政治研究会（松下政経塾出身の国会議員による超党派の会、現在武正が会長を勤めております。）で中国を訪問してまいりました。2001年12月以来になります。名誉団長を逢沢一郎外務副大臣、団長を私、他10名の国会議員による訪中団です。ODA・靖国問題に加え、先の原子力潜水艦による領海侵犯事件や、尖閣諸島の開発問題、北朝鮮への経済制裁の検討などを主なテーマに上海・北京で意見交換を行いました。特に私からは、毎回欠かさず尖閣、原潜、沖の鳥島、拉致の各問題を取り上げ、領土領海・国民の生命財産を守るうえから「言うべきことは言う」姿勢で臨みました。

釣魚台で会談した唐家セン国務委員は、尖閣諸島問題を次の世代が解決するとした故鄧小平氏の知恵を強調し、資源問題の争いは棚上げし共同開発を行うべきとの主張です。また原子力潜水艦については技術的なミスとの答えのみでした。さらに靖国参拝に対する中国の国民の感情、台湾問題などにも言及があり、私をはじめ団員から、重慶サッカー大会に対する日本国民の感情、拉致事件について国民の7割が経済制裁やむなしとした世論調査等を伝えました。

翌日、温家宝首相と面会し、靖国問題・ODA 中断議論などについて提起され、前日同様に潜水艦問題は決着済み、尖閣は共同開発との答えでした。私からは帰り際に「領土領海を守ります」と伝えてきました。

今回の訪中では、1、外交と内政干渉の境は？ 2、中国指導者に日本の立場、考え方を伝えるには様々な工夫が必要 3、外交は内閣の専権事項であるため、国会の役割、とりわけ野党の発言が肝要である、と意見を新たにしました。守るべきものは守る、したたかな外交の一助となるよう、取り組んでまいります。

武正公一(たけまさこういち) プロフィール

あゆみ

昭和36年生まれ。さいたま市浦和区大東3丁目
在住。さいたま市立木崎小、木崎中、県立浦和高
校、慶応義塾大学法学部政治学科卒業。松下政経
塾(5年間)卒塾。

浦和で「プロサッカー球団をつくろう会」を旗揚
げする。

地域では、レッドダイヤモンド後援会理事、埼玉
県ボウラーズ連盟会長を務める。

県政の場で

平成7年4月、埼玉県議会議員初当選。
平成11年4月、埼玉県議会議員2期当選。

国政の場で

平成12年6月、「国政・新時代!」を掲げ、
衆議院に初挑戦。

10万5783人のご支持を頂き初当選。

平成15年11月9日、

11万7587人のご支持を頂き二期当選。

国会での委員会

外務委員会委員、安全保障委員会委員

民主党での役職

NC(ネクストキャビネット)外務副大臣、役員
室次長。

雑の里岩槻 新春の集い

日時: 2月18日(金) 18:30 開会

場所: 駅前ワッツコミュニティセンター4F

会費: 3,000円

ご参加お問い合わせは岩槻事務所まで

Tel. 048-749-6801

第41回 たけまさ公一と語る会

どうなる? 国とあなた財布 その2

日時: 2月20日(日) 14:00~16:00

場所: さいたま市民会館うらわ 7F

会費: 無料

申し込みなし。会場へ直接お越し下さい。

国会見学会

日 程... 2月16日(水)

3月15日(火)

4月14日(木)

集 合... 北浦和図書館前

時 間... 8時30分集合(16時過ぎ解散予定)

会 費... 3,500円

ご参加・お問い合わせは事務局まで。

た け ま さ 公 一 事 務 所

さいたま事務所 さいたま市浦和区北浦和3-6-11 松本ビル2F TEL048-832-3810 FAX048-832-3846

岩槻事務所 岩槻市本町5-5-12 TEL048-749-6801 FAX048-749-6802

国会事務所 千代田区永田町2-1-2 衆議院第2議員会館312号室 TEL03-3508-7062 FAX03-3519-7715

e-mail: voice@takemasa.org

たけまさ公一ホームページ

<http://www.takemasa.org>

i-mode版 <http://www.takemasa.org/i>

活動日記「今日のたけまさ」更新しています